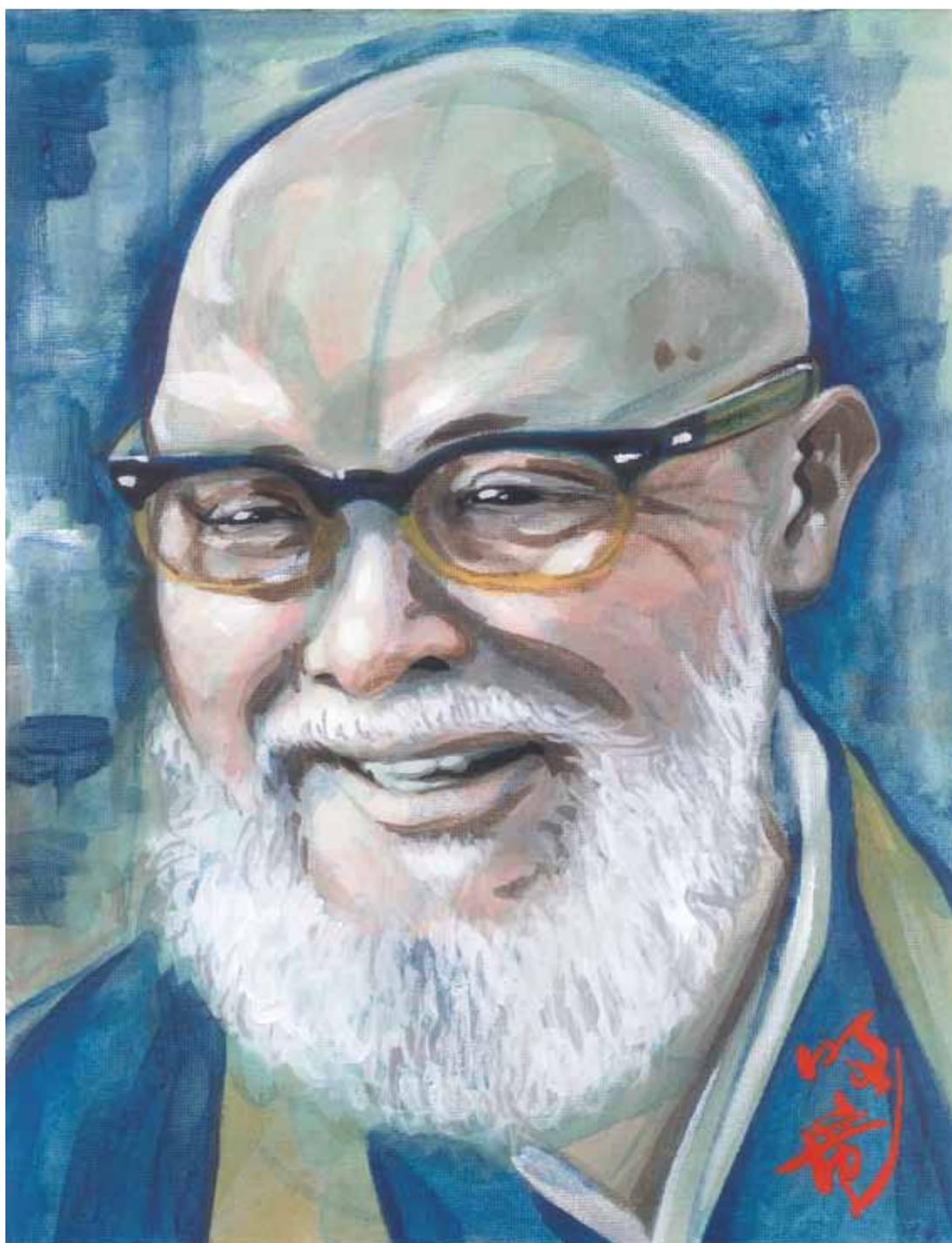


全日本実業団少林寺拳法連盟  
設立45周年記念誌

# 感謝



2015年 神無月

表紙：少林寺拳法創始者 **宗 道臣**(そう どうしん)

1911(明治 44)年 2 月、岡山県作東町(現美作市)生まれ。

17 歳のとき、中国に渡り、大陸を駆け巡る。

その間、縁あって嵩山少林寺の流れを汲む文太宗老師の知遇を得てその門に入り、各種の拳技を修得する。

敗戦後日本に帰国する体験のなかで「人、人、人、すべては人の質にある」と悟る。

戦後の日本において荒れ果てた社会、夢も誇りも持てない人間の姿をまのあたりにし、「平和で物心共に豊かな社会をつくりたい」と、1947(昭和 22)年 10 月、香川県多度津町において、力愛不二の“教え”と自己確立・自他共楽を旨とする“技法”を中心とした、拳禅一如の「少林寺拳法」を創始、少林寺拳法師家となる。

1980(昭和 55)年 5 月、逝去

表紙絵：明竜

挿 絵：みん

全日本実業団少林寺拳法連盟が誕生して  
45年が経ちました。

この道を拓いてくださった開祖に感謝。  
導いてくださった先達、先輩諸氏に感謝。  
ご支援、ご協力くださった皆様に感謝。  
ご理解、応援してくださった家族の皆様に感謝。  
そして今、実業団連盟の一員として頑張っている  
現役拳士の皆様に感謝します。

45年の足跡の全てを語ることは到底できませんが、  
皆様のご尽力に敬意を表し、  
ささやかな記念誌を作成しました。

## 発刊の辞

全日本・関東実業団  
少林寺拳法連盟  
会長 **渡邊 信**



全日本実業団少林寺拳法連盟は今年45周年を迎えました。設立からの45年を応援し支えていただいた皆様に心より感謝いたします。

「社会の色々な分野の色々な階層に少林寺拳法の考えを持った人がいれば、この世はきっと良くなる」という開祖の思いを受け、1970年に実業団連盟は誕生いたしました。今では中央官庁や地方自治体を始め製造業、情報サービス、エンターテインメント産業、サービス業等実に様々な職域の第一線で文武両道の阿羅漢達が活躍しており、大変誇らしく思います。

50周年を100を超える実業団支部で迎えることを目標に掲げた40周年の記念式典から5年が経ちました。全国の実業団支部数は微増に留まっていますが、飛躍に向けての助走は既に始まっています。36年ぶりの実業団連盟新設となった四国実業団連盟の設立、転職や退職後も所属可能な全日本実業団支部の設立。学生を対象とした支部長仮認証制度のスタート、学生連盟、学連OBの皆様との連携。少林寺拳法の発展に向け、次の5年でその成果を目に見える形に持って行きたいと考えています。

これまでの45年間に感謝し、今後も一步一步着実に歴史を刻んでいきたいと思っております。

合 掌

## 発刊の辞

全日本・関東実業団  
少林寺拳法連盟  
理事長 **根本 武美**



2015年全日本実業団少林寺拳法連盟45周年記念式典が関係各位のご理解とご協力のもと、かくも盛大に開催できましたことを心より感謝いたします。また、株式会社デンソー様の全面的なご協力をいただき、愛知県刈谷市の素晴らしい施設で開催できたこと、併せて御礼申し上げます。

40周年記念式典から早5年。この間、折あるごとに新井会長のお時間をいただいております。実業団連盟活性化の貴重なアドバイスを頂戴し、支部長各位と知恵を絞りながら着実に実行してまいりました。春夏の大学生合宿では、講演をさせていただくと共にリーフレットを配布。毎年5月の部長監督研修会を利用して全国の実業団支部長の結束強化。都道府県連理事長や道院長と歩調を合わせ、公務員拳士へ支部設立の働き掛け。他にも四国実業団少林寺拳法連盟の新設や全日本実業団支部の設立。智慧を出し合い計画し、力を併せて実行することで、必ずや2020年には目標の100支部を達成できると信じています。

最後になりましたが、開祖宗道臣の「志」を引き継ぎ、2020年の50周年を更に充実して迎えられるよう皆様方のご支援とご協力をお願いして、発刊の辞とさせていただきます。

合 掌

## 祝 辞

少林寺拳法グループ

総裁 宗 由貴



全日本実業団少林寺拳法連盟45周年記念演武会開催、誠にありがとうございます。

1970年からこれまで全国の実業団における少林寺拳法の結束を強め益々ご繁栄のことと存じております。長きにわたり、職域を中心とした人材育成活動を続けてこられたことに敬意を表し、日頃よりご支援ご協力を頂いている皆様方に、厚くお礼を申し上げます。

70年の歴史を目前とした少林寺拳法は、日本国内外において、様々な年代、地域、職域、学校、老若男女を問わず誰もが一緒に楽しみ、共有出来る文化として発展し伝承されてきました。

創始された当時と現在では、社会の状況も大きく異なっているかとは思いますが、人の抱える問題には大きな違いはないように思われます。職域での人間関係作りや、社会貢献の可能性を少林寺拳法を通して求め続けて下さい。その為に、少林寺拳法の原点である創始者の志を受け継ぎ、拳士の皆さまが「生きる力」を養い、「感性」を磨くための少林寺拳法であり続けることを目指します。最後に、本行事開催にあたり、ご尽力されました関係各位に敬意を表しますと共に、これまで少林寺拳法の活動にご理解を頂き、支えて下さいました皆様方に、重ねてお礼申し上げ、本演武会が、実業団関係各位と拳士の皆様との団結の一助を担うものとなりますよう祈念いたしております。

合 掌

## 祝 辞

一般財団法人  
少林寺拳法連盟

会長 新井 庸弘



全日本実業団少林寺拳法連盟45周年記念演武会が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

全日本実業団少林寺拳法連盟は、1970年に関東実業団少林寺拳法連盟が創立されてまもなく、初代理事長を務めていた松木長實氏が創始者 宗 道臣（開祖）の依頼を受けたことがきっかけで始まりました。創立に携わった草創期の皆様をはじめ、伝統を受け継いでこられた皆様、そして関係各位の皆様方の永年にわたるご尽力に対し、敬意と感謝の意を表します。

少林寺拳法は1947年、開祖により「人づくりによる国づくり（理想境建設）」を目的に香川県において創始されました。

実業団で活躍される皆様は今後とも、自信と信念と誇りを持って少林寺拳法の修行に励み、自己確立に努めるとともに、苦楽を共にできるよき仲間を増やしていこうではありませんか。

本演武会を契機に、今後とも「人づくり」の場として活動を継続され、全日本実業団少林寺拳法連盟がますます発展されますことをご期待申し上げます。

結びに、関係各位の皆様方のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

以 上

# CONTENTS

発刊の辞 .....	2
祝辞 .....	3
第1章 「守」 .....	5
修行の基本である少林寺拳法の拳技と 実業団拳士としての社会活動の基本である 仕事とを紹介します。	
第2章 「破」 .....	21
教えと技法の適用として 全日本実業団連盟45年間の歴史を 紐解いてみたいと思います。	
第3章 「離」 .....	41
次の時代への展開ということで 全国の実業団拳士やOBそして応援団のVoiceを ご紹介いたします。	

# 「守」の部

拳の三訓「守・破・離」とは  
修行の段階とその心得について  
述べたものです。

「守」とは最初の段階であり  
「師の格に至ること」と  
言われています。

この章では、  
修行の基本である少林寺拳法の拳技と  
実業団拳士としての  
社会活動の基本である  
仕事を紹介します。

# 義和拳



## 義和拳とは

連攻防の基本となる技を、初心者の訓練用として、単演法形にまとめたもの。天地拳六系と共に少林寺拳法の剛法基礎訓練として欠かせぬ技法。

富士通ゼネラル  
畑中 武弘



富士通ゼネラルは空調機事業が8割、情報通信事業が2割の製品及びシステムの開発・製造・販売会社です。  
現在は空調機ドキュメント部というマニュアル設計と販促ソフトウェア開発部門の統括・管理を担当しています。

# 天地拳



## 天地拳とは

初心者が単撃攻防の基本を学ぶために編成された単演法形。左右の手の位置や体のさばき方に留意することが肝要。

新日鐵住金和歌山  
春野 勝義



徳川御三家の一つ、紀州55万5千石の和歌山城がそびえる市街地から紀の川を渡ると、その河口に私が勤めている和歌山製鉄所が広がり、敷地面積は甲子園球場の140倍となります。その中で私の仕事は、設備部の上工程（荷役された鉄原料を様々な工程を経て高炉で鉄を造るまで）の機械関係を担当しています。

# 紅卍拳



## 紅卍拳とは

演武線は十字にして、四方に対してこれを行う。第二線、第四線に向かった時に龍王拳又は龍系諸技の単演技を入れて演武することもある。

三重銀行  
伊藤 公昭



「地方銀行系シンクタンクの使命は、地元担い手人材の育成」において他に無いと心に誓い、「道訓」を常に念頭に、経営者・会社幹部・大学生に対して、コンサルティングや講義を日々行っています。

# 仁王拳



## 仁王拳とは

上段攻防を中心とする剛法拳系。基本技を使いこなすための初心者にとって必須の訓練科目であるとともに、守主攻従と後手必勝の道理を会得させるために重要な役割を果たす技法。

東洋エンジニアリング  
生方 千裕



プラントエンジニアリング会社の財務部勤務。プロジェクト資金管理（ファイナンス手配・代金回収リスク管理・外国送金管理等）と全社資金管理（資金調達・運用等）の責任者で主に銀行・証券会社・保険会社対応をしています。

# 三合拳



## 三合拳とは

足又は手の攻撃に対して、手で受けて足で反撃する技法。中段攻防が主体であり、鶴立拳とともに足技の多いのが特徴。始めから体構えがついているのも三合拳のもう一つの特徴。

NTT西日本  
田中 徳幸



自治体様のシステムや通信ネットワーク、電話関連まで通信事業の営業及び運用サポートを行っております。仕事のポリシーは、お客様の良きパートナーとなり、WIN-WINの関係、正に自他共栄を現場で活かすことです。

# 天王拳



## 天王拳とは

仁王拳と同じく白蓮系の剛法で、連攻防の基本形。連攻防というのは一挙連撃の技法であり、手と手の連撃や、手と足の連撃等に分かれていて、上段より始まっている。

東海理化  
大塚 昇



職場では、ドアミラーの品質の責任者として、不具合の未然防止、再発防止に取り組み、半ばは他人(お客様やエンドユーザ)の幸せを考えようと心掛けています。少林寺拳法の修練を身心リフレッシュの一つとして、今後も続けたいと思っています。

# 白蓮拳



## 白蓮拳とは

受けた手で即反撃。受けと反撃を片手一動作に近い快速で行う段攻防を主とする独特の技法。

手による早技を主体に、手足の攻防、体さばき等が巧妙に組み合わさって可能となる。



鎌倉市役所  
田邊 由洋

市役所というと様々な申請窓口がズラリと並んでいる光景を思い浮かべることでしょう。しかし、私の仕事は土木技術職として市内の河川や下水道の整備と維持管理を行っています。台風シーズンになると天気図とのにらめっこが続きますが、毎日、大自然との闘いに挑んでいます。

# 地王拳



## 地王拳とは

天王拳と共に剛法連攻防の基本法形として徒手格闘の組演武編成に欠くことのできないもの。天王拳の手より始まる連攻に対し、地王拳は足より始まる連攻防となる。



大阪府庁  
坂田 文郎

土木技術者として大阪府に入庁し、現在は大阪と国内外を繋ぐ重要な都市インフラである港の管理・運営を行う港湾局に勤務しています。高度経済成長期に整備した都市インフラの老朽化対策が喫緊の課題であり、戦略的な維持管理を行うべく第一線の現場で取り組んでいます。

# 鶴立拳



## 鶴立拳とは

脚による攻防を主体とする特殊な形であり、総ての形が片足立で膝受けから蹴り返す、波浪脚撃からなる特異な技法。



厚生労働省  
小林 英司

厚生労働省所管の法人で、半世紀以上の歴史をもつ国家検定である技能検定に携わっております。技能の世界も少林寺拳法と相通ずるものがあると思っております。様々な業界の先生方にご協力をいただきながら日々勉強中です。

# 龍王拳



## 龍王拳とは

握られた手首を抜いて逃げる技。抜手法を中心に攻防の技術を組み合わせて編成されたもの。龍系諸技の母技と称されている。

日本IBM  
山下 明人



100年以上の歴史を持ち全世界170カ国で情報サービス・ビジネスを展開するグローバル・カンパニーに勤務しています。新入社員営業研修チームのリーダーとして、人事・セールス研修部門でインストラクターを務めています。

# 龍華拳



## 龍華拳とは

手捕りの捕技および手首を取られた時に相手の力を利用して投げたり倒す逆技からなる。力三分に技七分といわれるこの技術は、よき相手と、よき指導者を得てはじめて上達できる難しい技術といわれている。五花拳と共に重要な技法。

JFE千葉  
根本 武美



昨年12月末で定年退職しました。  
現在も、当社化成品の生産管理と試験業務をシニアとして継続しております。  
若手育成の担当も任せられ、13名の若者をしっかり鍛えております。少林寺拳法の教えが大いに役立っています！

# 五花拳



## 五花拳とは

北少林独特の剛柔一体の投技からなる第一系「紅花」、片手投系統の技からなる第二系「梅花」、門系の技からなる第三系「白蘭」、仏骨投系の技からなる第四系「牡丹」、天秤系の技からなる第五系「桃花」の五系がある。

デンソー  
新見 幸秀



職場では重要な決断をする場面が結構多くて、テンパっていることが多いです。少林寺拳法は、そんな仕事の疲れを癒してくれる、いい相棒です。いつまでも友達付き合いをしたいと思っています。

# 金剛拳



## 金剛拳とは

固め技や捕技からなる拳系。仕掛けて行う捕技に属するものと、他の各種技法から変化して固め技になる場合と二種類ある。

KDDI四国  
内原 晃子



KDDI株式会社 コンシューマ四国支社 広域グループ（香川県高松市）で勤務しています。  
コンシューマ四国支社はau販売代理店様への販売施策の展開や販売店舗のスタッフ様向けにフォロー等を行う部署です。私は広域グループの所属で、主要代理店様を相手に商品の販売や仕入れの商談に伴う営業サポート事務を担当しています。

# 羅漢拳



## 羅漢拳とは

龍系諸技や五花拳とともに、柔法の主系をなす重要な技系。衣捕り技法をはじめ逆技や本逆投からなる。

タダノ  
坂田 浩司



香川県に本社を構えるクレーンメーカーである株式会社タダノで、設計・開発の仕事をしています。担当は、海外で生産するトラック架装カーゴクレーンで、強度構造物から油圧、電気まで多岐にわたります。世界中で活躍し、お客様のお役に立てる機械の開発は、毎日が発見の連続です。

# 全国で活動する実業団少林寺拳法支部

## 特例支部

全日本実業団支部

## 全国地区

新潟教員  
静岡県警察  
広島市役所  
呉市役所  
帯広市役所  
秋田県庁  
JFE福山  
JFE倉敷  
岡山教員  
JR北海道札幌  
那覇市役所  
佐世保USN  
西海市役所

## 関西

西宮市役所  
宇治市役所  
大阪府庁  
全国麻取  
兵庫県庁  
JR西日本京都  
茨木市役所  
大阪市役所  
大阪府警察少林寺拳法会  
東大阪市役所  
三菱伊丹  
神戸製鋼神戸  
東芝姫路  
新日鐵住金和歌山  
松下茨木  
神鋼加古川  
川重神戸  
阪神百貨店  
近畿日本鉄道  
京都教職員  
兵庫教員  
JNC滋賀  
島津製作所  
奈良県警察  
日東精工  
大阪教職員  
NTT西日本  
デービー精工  
ダイキン工業滋賀

## 東海

トヨタ自動車  
デンソー  
東海理化  
三菱自工  
三重銀行

## 四国

大塚今切  
JR四国  
香川教員  
百十四銀行  
KDDI四国  
タダノ

## 関東

首都高速  
厚生労働省  
農林水産省  
鎌倉市役所  
町田市役所  
東京港区役所  
NTT通研  
宇都宮市役所  
八王子市役所  
警視庁  
経済産業省  
日立柏  
富士通ゼネラル  
東洋エンジニアリング  
富士通中原  
JFE千葉  
SONY  
出光千葉  
オリエンタルランド  
日本IBM  
東京都交通局  
US Navy Yokosuka  
NMP千葉  
ALSOK  
鶴山工業  
セガ  
富士フイルム  
神奈川教員

あなたの会社に少林寺拳法部を作りたいと思ったら実業団連盟にご相談ください。

# 「破」の部

拳の三訓「守・破・離」とは  
修行の段階とその心得について  
述べたものです。

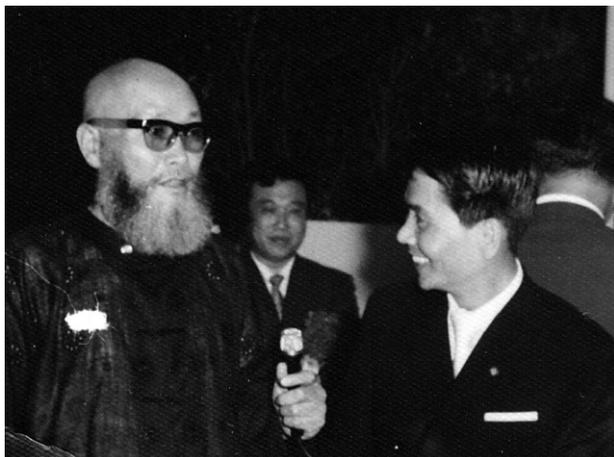
「破」とはやや修行の進んだ段階であり  
「法にかなう範囲で師の格をくずしても良い」と  
言われています。

この章では、  
教えと技法の適用として  
全日本実業団連盟45年間の歴史を  
紐解いてみたいと思います。

## 実業団連盟のあゆみ



少林寺拳法の開創から20余年が経った1969年。日本が未曾有の好景氣を迎えるなか、雇用促進事業団に勤務する松木長實が実業団支部設立を決意した。



支部設立許可の際、開祖・宗道臣は松木の師であった内山を通して松木に命じた。「実業団連盟を設立せよ」。

年が改まって1970年。ここから実業団連盟の歴史が始まった。



1973年 東京の日比谷公会堂で第1回全国実業団演武大会を開催。

出典：少林寺拳法五十年史



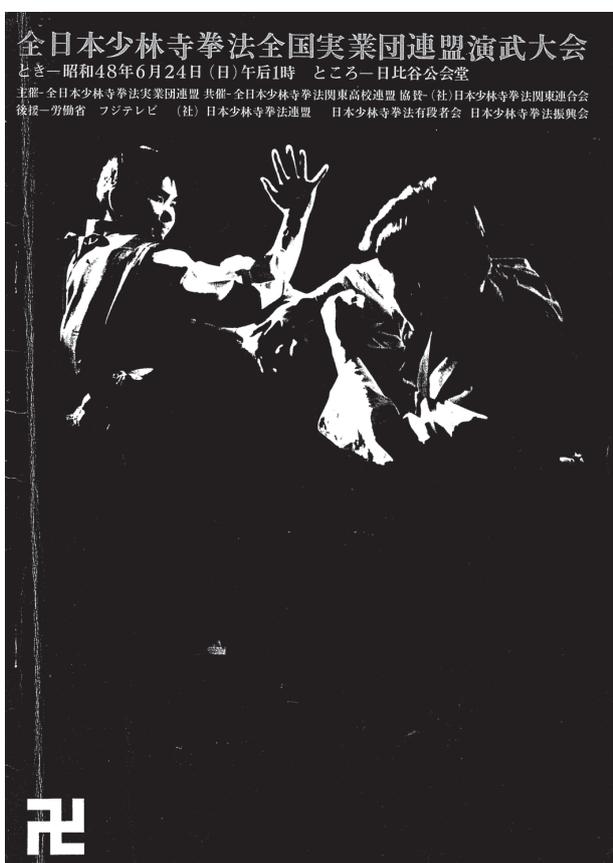
出典：少林寺拳法五十年史

日中国交正常化直後の騒然とした世相の中、第1回大会では民間初の日中交流行事として中国大使館から来賓を招聘。右翼団体との衝突が予想された。



出典：少林寺拳法五十年史

大会の朝、実行委員全員に特殊警棒を配り、実行委員長だった松木は言った「私に命を預けてくれ」誰一人、笑うものはいなかった。



### 全日本少林寺拳法全国実業団連盟演武大会

とき-昭和48年6月24日(日)午後1時 ところ-日比谷公会堂

主催-全日本少林寺拳法実業団連盟 共催-全日本少林寺拳法関東高校連盟 協賛-(社)日本少林寺拳法関東連合会  
後援-労働省 フジテレビ (社)日本少林寺拳法連盟 日本少林寺拳法有段者会 日本少林寺拳法振興会

少林寺拳法の歴史において初めて開祖法話を導入したこの大会は、大成功のうちに幕を閉じた。

数々の困難を乗り越えた実績は自信につながった。と同時に同じ釜の飯を食った仲間との結束はより強固なものとなった。



第1回大会から2年後の1975年。愛知県・名古屋市において第2回実業団連盟全国大会を開催。



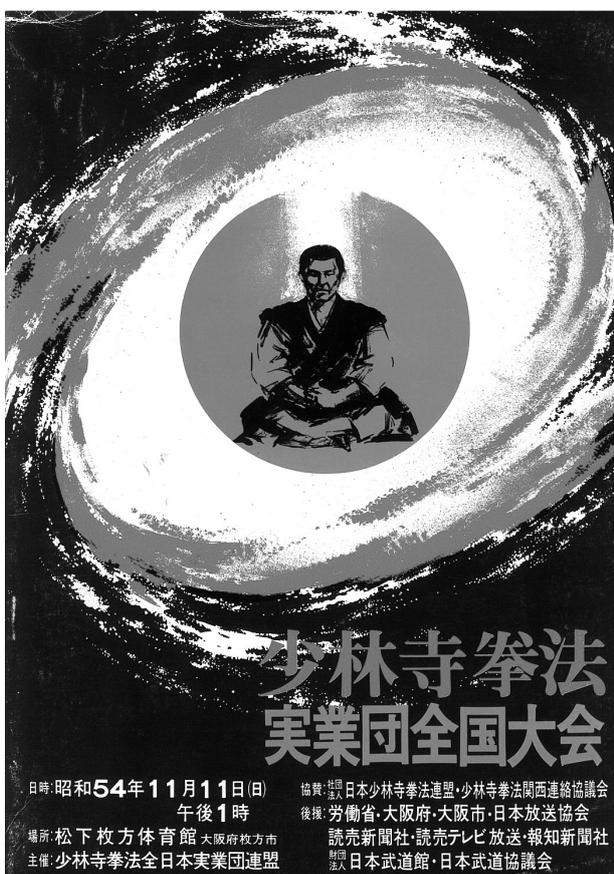
少林寺拳法の歴史において初めて「弁論の部」が設けられた記念すべき大会であった。



この大会がきっかけとなって東海地区に実業団連盟が誕生した。  
関東に次ぎ、2番目の実業団連盟だった。



1977年。関西実業団連合会結成。  
のちの関西実業団連盟である。



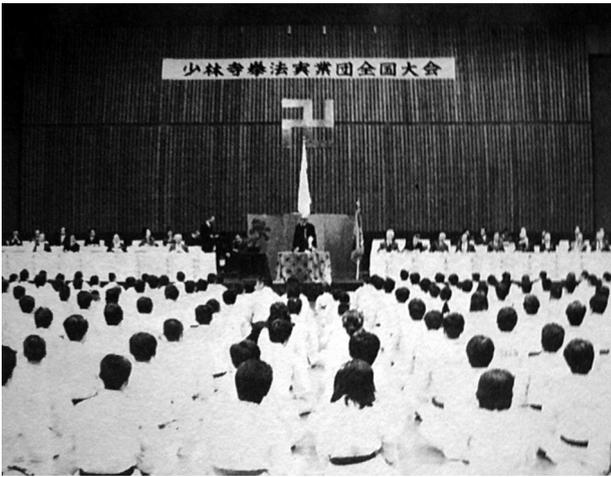
1979年第3回全国実業団演武大会が大阪府の松下牧  
方体育館で開催された。

病をおして駆けつけた開祖。5,000人が見守る中、  
壇上で熱弁を振るった。

開祖遷化の前年であり、これが開祖がご臨席された  
最後の大会となった。



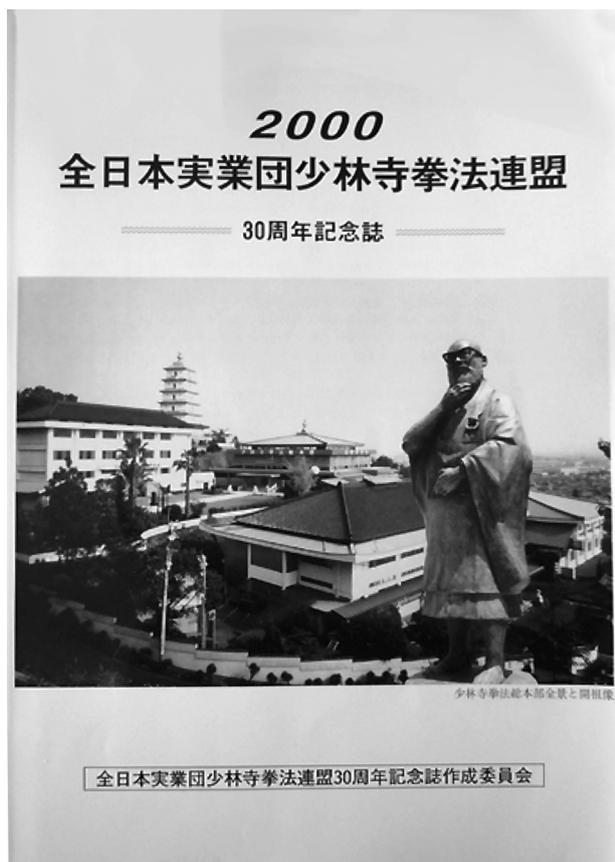
国民の不断の努力により年々右肩上がりの日本経済。実業団連盟も歩調をあわせるかのごとく躍進を続けた。



70年代後半から80年代に掛けて、実業団連盟は最盛期を迎え、全国で170を越える実業団支部が活動していた。



1987年、実業団連盟から自衛隊連盟が独立。同時に、全国に広がった実業団支部の活動は地区ごとに分化活性化していった。

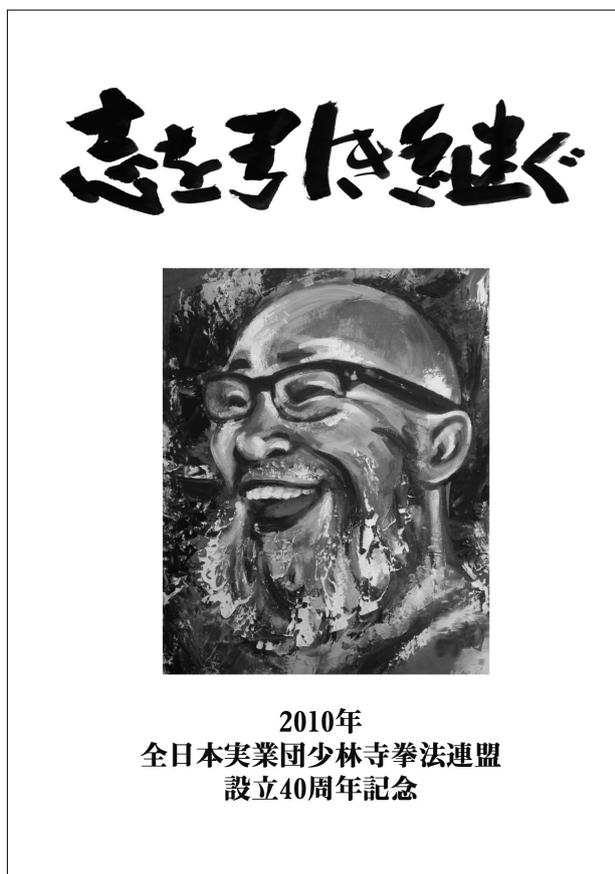


1990年代初頭。バブル経済崩壊。日本列島に激震が走った。職域支部の連合体である実業団連盟は経済破綻のあおりをまともに喰らった。

「失われた20年」に突入し、その後長く吹き荒れる逆風をしのぐことを強いられた。

2000年10月。

依然吹きすさぶ逆風にも負けず全日本実業団連盟設立30周年記念大会を東京で開催。



2010年10月

設立40周年記念式典が千葉県浦安市で開催された。

「志を引き継ぐ」を合言葉に10年ぶりの全日本実業団イベントが行われた。

## 東北復興支援ボランティア活動（2011～2014年）



実業団連盟は東北大震災復興支援活動を積極的に推進してきた。震災のあった年、埼玉早瀬 林昌幸道院長と埼玉入間 島山誠道院長率いるSKボランティアに参加。

陸前高田市で瓦礫撤去、溜池清掃に従事。

更地となってしまった市街地を眼前に圧倒的な無力感を覚えながらも、無心に作業を続けた2011年10月。



震災翌年、再び陸前高田市で復興ボランティアに参加。

側溝を掘り返しての遺品探索に従事。

重い側溝の蓋を持ち上げ、泥をさらい、再び蓋を戻す。気の遠くなるような作業を繰り返した2012年10月。



3年目の東北ボランティア。

大船渡市で漁業支援。ホタテ養殖の機材整備。漁師のお母さん方が作ってくれたお弁当に感謝を込めて舌鼓を打ち、被災者の体験談に涙した2013年10月。



4年目はソフト・ボランティアに大きく舵を切り、被災者の体験談を聞いた。

押し寄せる津波の飛沫の中必死に車をとばして命拾いした話、警察が機能せず外国人窃盗団が横行した話、胸が締め付けられた2014年10月。

## 全日本実業団支部 活動開始 (2013年～)



2011年12月。「全国自衛隊支部の例もあることだし、実業団もそういう支部を作って拳士の消失を防いでみてはどうか」新井会長の言葉ですべてが始まった。

会社を退職した後、あるいは支部継続が不可能になったあとも実業団の拳士が少林寺拳法の修行を続けられるよう、企業の枠を超えた実業団支部を作る…そんな特例支部のコンセプト作りが最初の一步だった。



まず関東実業団理事会で会議を重ねた。受け入れ対象は？ 練習回数や場所は？ 関東以外の地区ではどう運営していくのか？ 5年後10年後はどういう状態にもっていくべきか…前例は無い。参考となる全自支部との共通点と相違点を洗い出しながら支部活動の輪郭を描いていった。

ある程度コンセプトが固まったところで、関東・東海・関西の代表者が顔を突き合わせて夢と思いを共有した。



2013年2月、全日本実業団支部が活動を開始。実に検討開始から足掛け3年が経っていた。

現在、関西、東海地区でも活動準備中。

支部長:谷合孫三郎

第2代 全日本実業団連盟理事長

元 武蔵村山市役所 部長

連絡先:zenjitsukantou@gmail.com



# 全日本実業団連盟 合同合宿 in 東海 (2014年)



2013年7月、東海地区に全国から147名の実業団拳士が集まり、全日本実業団連盟初の合同合宿が開催された。

きっかけは40周年記念式典までさかのぼる。



「50周年は関西地区で、45周年のイベントは東海地区でやろうじゃないか」との会話がされたのが40周年記念式典の席。その後、計画の実現に向けて、予行演習的に中間に位置する東海地区で合宿をとの声が上がった。



会場は東海の雄、デンソー本社。日中は本部から新井会長をお迎えしての技術研修会。夜は名古屋駅前に場所を変え懇親会。



45周年に向けての布石は打たれた。

## 新連盟立ち上げ奮戦記

# 「四国実業団少林寺拳法連盟 ジェニシス」(2015年)

四国実業団連盟 理事長  
JR四国 部長  
大田 康司

JR四国少林寺拳法部は創部以来10年間、一度も全日本実業団連盟にご挨拶に伺ったことがありませんでした。そこで2010年に関東で開催された全日本実業団少林寺拳法連盟設立40周年祝賀会に、当部の泉顧問と支部長の大田が出席したのですが、これが総ての始まりとなりました。

会場では渡邊会長、新井会長、根本理事長に取り巻かれ、「是非、四国に実業団の連盟を」という要請に泉顧問もすっかりその気になり、「大田さんが作るんだな。」と言い出す始末。(出る杭は打たれるが、出た杭は優しく転がされる)

また翌日から毎朝、パソコンを開けると根本理事長から熱いメッセージが届くようになりました。根本理事長は本部に来られる時、必ずJRホテルク

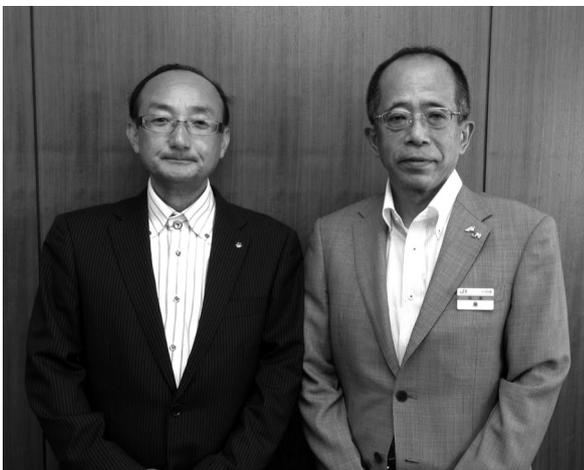
レメント高松に宿泊され、新設支部長候補をまじえて我々と飲み会を開催し設立の不安の解消、激励の言葉をいただきました。

2015年本部での鏡開きの後、全日本実業団連盟役員と新井会長との面談の中で、今年中に「四国実業団少林寺拳法連盟を設立します。」と宣言する運びとなってしまいました。JR四国少林寺拳法部の飲み会専門部(通称:飲専)に誘っていた他の支部長候補とともに、設立準備委員会を設立。毎月、飲専を通じて交流を深めていきました。

当初、香川県連盟の名簿に実業団は、大野先生の香川教員支部とJR四国少林寺拳法部の2つのみでした。

困って藤澤香川県連盟理事長に相談するとKDDI四国に教え子の中田照実君がいるので新設の話をしておいてくれるとのこと。そこで中田君が昼食に行くラーメン店でほぼ毎日待ち伏せし、逢うたび新設支部設立について話をしていたところ、ある日「支部設立に向け設立研修会を受けます。」と快諾いただきました。

こうして、KDDI四国少林寺拳法部が2013年4月に設立。ところが、1年たったころ、中田支部長に東京転勤命令が下り、保井雄介級拳士を支部長代行とし、設立研修会、昇段考試を終え、存続可能になり安堵しました。ところが、また1年たったこ



(左) 大田康司 連盟理事長 (右) 泉雅文 連盟会長

ろ、保井支部長に大阪転勤命令が下り、内原晃子級拳士を支部長代行とし、昇段試験、設立研修会を受講して、今日に至ります。

地元の主要銀行である百十四銀行では、JR四国社員のご子息である井上大輔君が高校生の時、JR四国少林寺拳法部に入部しており、大学を卒業したあと百十四銀行へ入社していました。彼が本店営業部に配属になったので、他にも少林寺拳法をやっている人はいないか探してもらおうと、松本博司正拳士四段が見つかりましたが、大田が直接面談すると「体調が良くない」とあまり乗り気でなさそうな言葉が返ってきました。そこで、泉顧問が渡邊頭取に面談に行きそしらぬ顔で「御社にも少林寺拳法部ができるようですね。」と。彼が所属する国分寺スポーツ少年団の竹内先生夫妻からも支部設立の協力をしていただき、じわりじわりと外堀が埋まっていき百十四銀行少林寺拳法部の設立と松本支部長の誕生となりました。（無理をとおせば、道

理は引っ込む）

地元香川県に本社を持つ世界的クレーン製作会社の株式会社タダノは、新井会長から、「坂田浩司君がいるよ。」と紹介され、本人に面談すると設立快諾。坂田君の所属する高松木太支部の鎌田先生にも快諾いただき、あとは、会社の説得のみ。大田は、パソコンで筆頭個人株主を確認し、坂田君の支部長推薦状、少林寺拳法の書籍、坂田君自らの決意書を封筒に入れ、新車のターボエンジン搭載の軽自動車を飛ばして個人株主宅へ。そこにはなんと、ベンツが二台、広大な芝生庭、ダイビングプール付の家が。それでも気後れせず、坂田君を株主に紹介し、筆頭株主から代表取締役社長へ少林寺拳法部の設立の申請の封書を渡してほしい旨を伝えて快諾いただきました。後日、坂田君が社長から設立の了承を得たのを聞き、ほっとしました。

こうした取り組みの中へ、善通寺自衛隊支部の



浅山泰幸先生、徳島県の大塚今切少林寺拳法部の大西関男先生も仲間に加わり、議題はトントン拍子で解決、毎月の飲み会は絶好調。設立許可申請書もできあがり、2015年4月11日、本部に「四国実業団少林寺拳法連盟」設立許可申請書を提出しました。同年5月16日に開催された「全日本実業団少林寺拳法連盟部長会」のおり、一般財団法人少林寺拳法連盟会長、新井庸弘会長より設立承認の意向を表明されました。(はずみの理)

同年7月1日に正式に書面にて設立許可をいただきました。

これを機会に設立準備委員会は解散し、晴れて「四国実業団少林寺拳法連盟」として新たな一步を踏み出すことになりました。9月には連盟旗を用意して、開祖生誕の地で実施される開祖記念館奉仕団にスタッフとして参加、少林寺拳法発祥の原点を確認し、連盟会員の相互連帯をいっそう強めた。これからも少林寺拳法創始者、総裁、我々の悲願達成のために実業団ならではの方法で邁進し取組んでいきたいと思っています。



## 全日本実業団連盟 紋別合同合宿（2015年）



2回目となる全日本実業団連盟の合宿が2015年7月に北海道・紋別の地で開催された。

それは冗談半分の「雄大な北海道で、季節の良い時に合宿をしたいね」の一言で始まった。

あれよあれよという間に話が進み、最終的には関東、東海、関西実業団連盟から31名の拳士が紋別に集合。



2日目に地元市民を対象とした護身術セミナーを開催、老若男女50名近くが集まり護身のコツを学んだ。この時の模様は北海道新聞、北海民友新聞にも掲載された。

3日目は紋別東道院（西川富美雄道院長）との合同練習会。七段八段の高段者から一手御指南の時間を設け、和気藹々とした修練が行われた。最後は全員が輪になり一人10本ずつ号令を掛ける振り突で仕上げた。



北海道の海の幸を堪能し、オホーツクに沈む夕日を見ながらの露天風呂を楽しみ、45周年記念行事の一環としてふさわしい合宿となった。

## 研究論文

# 「如意伝探訪」(2015年)

関東実業団連盟 会員  
アレックス・ヤマシタ

### 〈アプローチの姿勢〉

#### ■はじめに

如意伝に関する情報を集める作業を通して、何人かの先生および拳士の方から如意や錫杖に関する貴重な情報をいただくことができました。中にはかなり著名な先生もいらっしゃいます。

最初にこの場を借りて、情報をお寄せいただいた皆様にお礼申し上げます。

#### ■如意伝の現状

皆様から頂いた情報を総合すると、残念ながら体系的な如意伝は失伝している、あるいはそもそも構築されていなかったのではないかという推測がなりたちます。

理由は大きく2つあります。まずオーソライズされた資料の存在が確認できないこと。そしてもうひとつが体系的な技法を披露される拳士が確認できないこと。この2つの状態が長年続いているからです。もちろん部分部分の技法は伝授されたようですが、体系的とは言いがたいのが現状です。

ちなみに開祖自身が如意や錫杖を使っていたかということに関しては、「如意はこう使うんだと言いながらステッキを振って見せてくれた」と教えてくれた先生、あるいは「錫杖の先を掴ませて投げ

るのが上手かった」と話してくださった先生がいらっしゃると思いますので、相当自由自在に法器を使いこなしていたことが伺えます。

#### ■探訪の目的

今回の探訪の目的は、失伝してしまった、あるいはそもそも構築されていなかったと推測される如意伝像を描き出してみることにあります。

#### ■考察にあたってのスタンス

初版の教範に如意陣として如意伝の構えが複数記載されていますが、この名称は開祖ではなく当時の高弟達が命名したものだとする古参の先生よりお聞きしました。

実際、如意陣と素手の構えを照らし合わせると、例えば下段構と斜構や、合気構と角構などのように、無手と得手の違いはあるものの本来同じ構えではないかと思われるものが別の名称となっていることが、別人が命名した可能性を示唆しています。

素手と得物を持った時とを区別するためという推測もなりたちますが、如意と錫杖では同じ名称が使われていることや、構えと違って受技の名称は「如意上受け」などとなっており、命名ルールに不統一感が感じ取れます。

ここから推察されることとして、現在一部に伝

承されている如意伝、錫杖伝も開祖以降の高弟がまとめた、あるいは創作したものである可能性が否定できないということです。

実際、現存する法器演武は単演主体が多く、構えや使い方に素手の少林寺拳法とは違った、日本武道をベースとしたらしき動きが散見されます。

練習方法も振り方や叩き方が中心ですが、これは素手の練習でいえば基本演練に相当します。基本演練は初心者にとっては大切な基礎練習ですが、組手主体を特徴とする少林寺拳法の本質には届いていない、いわば入り口レベルの練習です。

威嚇法もまたしかりで、素手で言えば構え直しやフェイントに相当し、守主攻従を特徴とする少林寺拳法の中心的な技法とは言えません。

各種法器を手の延長と捉えるなら、その中心技術は素手の拳技と同様、相手が攻撃を仕掛けてくるのを防御して相手を制する技術となるはずで

す。

これらの理由により、今回の考察では、伝承され

ている如意伝・錫杖伝の技法を参考とはしても、無条件に是とはせず、開祖が言われた「素手の技の延長」という原則をよりどころにフィルタリングしたり、足りない部分を素手の技から推測するなどのアプローチを取っています。

よって一般に伝承されてない技術や考え方も今回描き出した如意伝に含まれていますし、他に存在する如意伝とは別体系あるいは別法に感じられるかもしれません。既存の如意伝を否定するものではありませんが、素手の少林寺拳法と整合性を取るべく多角度から検証し、オリジナルに近いであろうもの、あるべき姿に近いであろう技法を割り出すという方針でアプローチしていますことを、ご了承ください。

また、全てを是として包含するという考え方もありますが、その時の欠点は広げすぎて收拾がつかなくなることです。よって研究の手始めとして中心的な技術に絞り、周辺技術は大胆に削ぎ落とすアプローチをしていることもご理解いただければと思います。



如意棒は一品一様、様々な形状がある

## ■ 如意と錫杖との関係

法器は長さのある錫杖から入り、それがある程度使えるようになってから短い如意を練習するのが良いという考え方もあります。おそらく戦うにあたっては間合いの長い得物のほうが有利という理由からではないかと思われます。

が、そもそも法器が素手の技の延長とするならば、素手と差異の小さい如意から入り、如意でコツをつかんだ後、差異の大きな錫杖の練習に取り組むのほうが自然と考え、今回は錫杖伝ではなく如意伝を考察の対象に選びました。

## 〈 実践編 〉

### ■ 総論：如意伝の捉え方

最初にもっとも重要となる如意伝のコンセプトを明確にしたいと思います。なぜなら、ここを明確にせず、個々の技術を考えても方向性がブレるだけだからです。これは拳の三要「技・術・略」でいうところの「略」に相当します。

「法器は手の延長」というのが開祖の考え方でした。如意伝においても踏襲すべきと考えます。

イメージで捉えてみましょう。あなたの片手（利き手側）にバルタン星人の大きなハサミのようなアタッチメントがついたと想像してください。

その大きなハサミで上受をしたり、下受をしたり、あるいは反撃の打ち込みを行う…そんなイメージで如意を捉えるのが分かりやすいかと思われます。

### ■ 法器と素手の拳法との関係

次にもう一つ重要な基本的な考え方を記述して

おきます。

法器を素手の延長と捉えるということは、法器と言えど、戦いにおいては「読みの感覚」「間合い取りの感覚」接触時の「続飯（そくひ）の感覚」など素手と全く同じ感覚を使うことになります。すなわち、素手で守主攻従の拳技ができなければ、当然法器を使った拳技もできないということです。法器と素手の拳技との関係はコンピューターの世界でいう「アドオン・ソフト」のように捉えていただくと良いかもしれません。

### ■ 構え方

如意陣（如意伝の構え方）として、立構、横構、角構、八相構、流構、斜構の名称が初版教範に見られます。また昭和30年発行の「幻」と呼ばれる教範第二版には縦構、斜構の文字がなく代わりに中段構と下段構の名称が加わり開祖自らモデルとなった如意陣の構えを写真で掲載しています。それらを元に素手の構えと比較してみました。それぞれ以下のような対比で捉えると理解しやすいかと思われます。

立構	—	中段構
横構	—	一字構
角構	—	合気構
八相構	—	八相構
流構	—	白蓮中段構
斜構	—	下段構

真逆のアプローチとして、法器を持った構えから素手の構えを類推することで理想的な手の位置や角度などを割り出すことができます。

例えば素手の下段構、なぜ前の拳だけ寝かすと下段構なのか。合気構はどんなシーンで使うのか。卍構えは派手過ぎないか。下受蹴は八相構で

中段に隙を作るといって上段にも隙ができていないのか？

これらの疑問は法器の構えから理由を考えると、謎を解くヒントが見つかるのではないのでしょうか。

### ■ 受け方

少林寺拳法は守主攻従なので、攻め技より受け技が重要です。

初版教範にいくつかの受けの名称が紹介されています。殆どは素手の技から想像がつくものばかりですが、気をつけなくてはいけないのは、如意の場合ガチンコ受けをすると相手の武器が流れてきて自分の指を痛める危険性があります。よって「続飯」併用が前提と考えるのが妥当です。なお、返受、横受などはイメージしづらいところだと思われませんが、返受は如意を使った白蓮拳の総称と捉えると分かりやすいかと思います。

横受は、もう一方の手を添えて行う如意による仁王受、十字受ととらえると良いでしょう。

### ■ 叩き方

受け技に続いて攻め技を考えてみます。如意棒

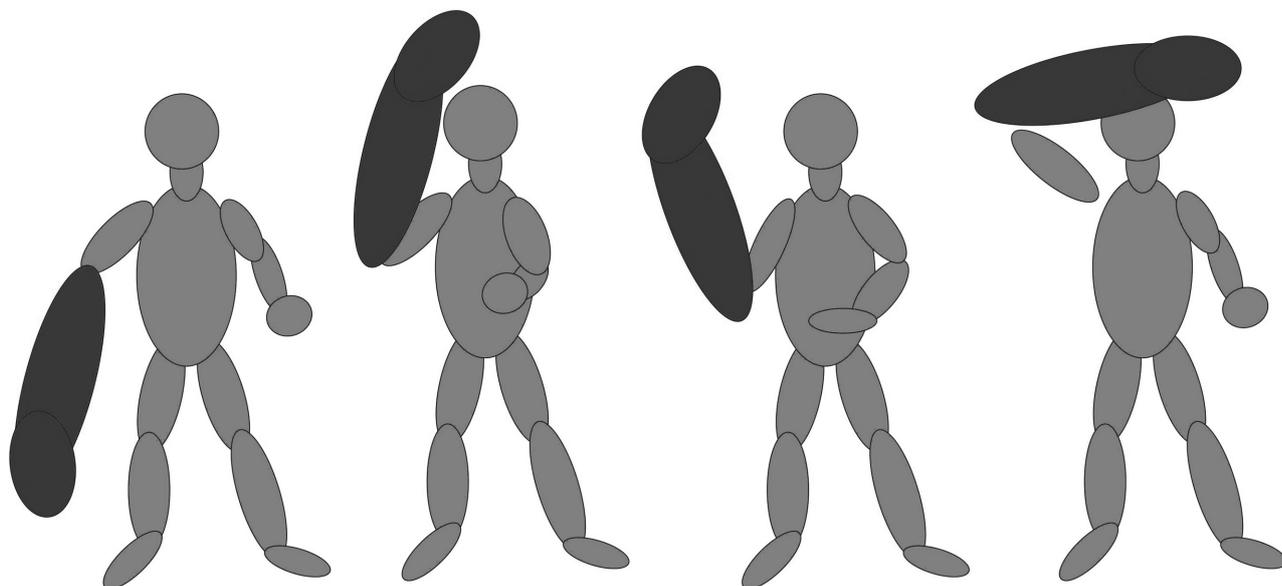
は棍棒ですから、基本どう叩いても効きます。

突くという使い方もありますが、たくさんの攻撃技をとっさの時に使い分けるのは難しいので、如意の特徴を最大限生かせる叩きを優先し、どうしても突いたほうが良いときだけ突く、ぐらいの優先順位づけをしておくが無理なく自然につかえます。

### ■ 法形

ほとんどの剛法法形に適用できると考えて良いでしょう。具体的な方法説明は誌面の都合上割愛しますが、如意棒を順手に持ち、常にバルタン・アタッチメントをつけているイメージで考えれば素手の法形を如意に適用するのは難しくないはずです。

なお動きの途中で如意を持ち替えることは避けるべきです。不用意な持ち替えは隙を作ることになります。また左右どちらの手でも使いこなせた方が良いのではとの疑問も浮かぶでしょうが、少林寺拳法はスポーツではないので、機械的に左右の動きを覚えるより、どの攻撃に対しても自分のホームポジションから対応できるようにすることを優先すべきです。



## ■ 護身

護身だからといっていきなり棒で叩くと、相手に大きな怪我をさせてしまったり、法的に罪に問われることとなります。

ただし、相手が刃物を持っている時など、明らかに攻撃動作に入るのを待ってから対処するのでは対応が遅れることもあります。相手の得物に如意で続飯を掛けるなどの牽制が実戦的です。

## ■ 如意柔法

如意の柔法もありますが、いきなり如意をつかまれるシチュエーションに違和感を感じる方も少なくないと思います。「護身」の項目で書いた「続飯を使った牽制」をしていると、うっとうしく思った相手が如意を掴むことがあります。そのようなシチュエーションで如意柔法を使う、と解釈するのが自然かと思われま

す。如意柔法の練習としては龍華拳各系の第一を応用して修練するのが分かりやすいでしょう。なお鉤手守法にコツがあり、小さな引き押しを使って手首を殺すと、次の動作に移行しやすくなります。また、相手が如意棒を離して逃げることを防ぐため、掛け手にもコツがあります。

## ■ 作り方・手入れの仕方

材質は、硬くて軽い木が向いています。

形状は蔓の巻きついたものなど、直線でないものが良いでしょう。これは刀の鐔のように働き、相手の武器が流れにくくなるためです

長さは、教範に一尺から三尺（初版には一尺から二尺）とあり、また尺八寸を定寸とすると記載されています。尺八寸を一尺八寸と解釈すると54セ

ンチとなります。持ち方にもよりますが、長くなると振るときに明らかに遅くなります。また、強度の弱さも出やすくなるため、54センチにこだわらず自分の手に合った長さにするのが良いでしょう。古参の多くの先生方も、実際には54センチ以下のものを使っていたようです。

さて、如意棒の作り方ですが、いくつかの方法があります。ある先生は、殆ど手を掛けず、木の皮もついたそのままで使用して、自然に剥げ落ちた状態にされていたとのこと。す。「いい味が出てくるんです」と言われていました。

また別の先生は乾燥させたあと火であぶって皮を剥ぐと言われていました。虫が入っていても焼き殺し、表面を炭化させたあと最後に目の細かいやすりで仕上げるのだそうです。

他にも水につけて皮を剥ぎ取る先生もいらっしゃいます。いずれにせよ如意は自然な形を活かす不定形なもの。ご自身の手にあったものをこしらえるのが良いかと思

います。紐、房も単なる飾りではないようです。教範に如意棒や鉄扇の写真がありますが、初めて見た時に紐が長いと感じました。また、どちらも房が2つあり、接触した位置にあります。

片手で振り回す如意棒はすっぽ抜けやすく、それを防止するためにはストッパーが必需品となります。紐は二股ではなく、輪っかの形状にしてあり、指や手首を掛けて使ったことが想像されます。

教範に写真で紹介されている如意棒の房はそのための形状と見て取れます。

多少のオシャレ心を出しつつも、渋めの色でこしらえるのが良いでしょう。

# 「離」の部

拳の三訓「守・破・離」とは  
修行の段階とその心得について  
述べたものです。

「離」とは修行の最終段階であり  
「法にかなうみずからの格を持つこと」と  
言われています。

この章では、  
次の時代への展開ということで  
全国の実業団拳士やOB  
そして応援団のVoiceを  
ご紹介いたします。  
(順不同)

# Voice

◆45年。自分が生まれる前からこの連盟を支えてきた方々に感謝です。実業団連盟は各支部の連帯感、距離が近いのが素晴らしいところ。さらに一体となって、連盟、少林寺拳法、日本、そして世界を良くしていきましょう！

(農林水産省 三浦隆司)

◆長く続く厳しい経済環境の中で実業団の拳士諸君が心身の鍛錬に取り組んでいる姿は、日本の未来に向け勇気づけてくれるものです。思えば、東海実業団連盟現会長の濱本忠直氏と会社支部を設立して以来、私の少林寺拳法との関わりは実業団と共にあります。実業団連盟の益々の発展を祈念してやみません。

(東海実業団連盟顧問 東海理化 岩佐泰樹)

◆開祖の命を受け全日本実業団連盟を設立し、関東・東海・関西と順調に立ち上げ、さらなる全国展開を目指して、松木さんを先頭に頑張って来ましたが、思うようにいかず悔しい思いをしてきました。その後実業団の低迷期が長く続きましたが、今、新しい力の息吹を感じます。今後の実業団連盟の発展を期待します。

(元 首都高速 部長 工藤明)

◆少林寺拳法に出会えて、今まで継続出来たことを自信と誇りに思っています。子供たちと少林寺拳法を練習が出来た事はとても素敵な事でした。これからも、一人でも多く開祖の教えを、伝えたいです。

(デンソー 島田敬之)



◆連盟発足45周年おめでとうございます。岡山中唯一の実業団連盟所属支部ですが楽しくをモットーに少林寺拳法を通じ、企業人・社会人としての活力源を養い地域社会に貢献する気持ちは不変です。取巻く環境には厳しいものがありますが少林寺拳法を続けられている自分達を幸せに思います。頑張ろう！

(JFE 倉敷 部長 小西幸一)

◆「実業団連盟は金剛禅運動の尖兵たれ」とい開祖の言葉を胸に、矜持をもってこの道に邁進してまいりましょう。

(日本 IBM 山下真由美)

◆45周年おめでとうございます。力愛不二、半ばは他人の幸せを、半ばは自己の幸せを。少林寺拳法と巡り合えた事、私の人生の最も重要な巡り合いです。少林寺拳法を修業出来たことに感謝！これからも頑張ります。

(デンソー 吉崎甲二)



◆5代目部長を拝命して3年目になります。

トヨタ自動車少林寺拳法部を盛り上げながら少林寺拳法の発展に微力ながら尽力していきます。同志 相親しみ・相援け・相譲り 共に頑張っていきましょう！

(トヨタ自動車 部長 二若正直)

◆45周年おめでとうございます！古き良きものを残し、伝統を大切にしながらも、時代の流れを読みその時代に合った少林寺拳法が発展されることを期待致します。今、自分が出来る最善のことを行い、小さなことでも良いから身近なことから人に役立つことを行っています。

(デンソー 伊藤芳美)

◆全日本実業団少林寺拳法連盟設立45周年を迎え、新たな出発に想いを馳せています。企業の中で少林寺拳法の良さを益々アピールして、さらに普及させていきます。

(東海実業団連盟理事長 デンソー 部長 新見幸秀)

◆五歳から少林寺拳法をはじめ、当時は部員も多く仲間同士励まし合い日々鍛錬に励んできました。最近は人数が減りましたが、大会出場を目標に頑張ったことで少しずつ自信がつき、昨年初段に合格することが出来ました。今年は受験生ですが、少林寺拳法と上手く両立しながら続けて行きたいと思います。

(デンソー 北村竜雅)



◆部員それぞれの都合から、なかなか活発な活動ができない現状ですが、それぞれの場所で少林寺拳法の技法と教え、理念を実践できるようこれからも精進していきたいと思います。

(新潟教員 部長 坂爪一也)

◆全日本実業団少林寺拳法連盟が設立 45 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。三重銀行少林寺拳法部は創部 3 年余りというまだまだ発展途上の部ではありますが、三重県唯一の実業団加盟団体として、三重の地に根付いた活動を地道に積み重ね、少林寺拳法の普及と地域人材の育成に努めて参ります。

(三重銀行 部長 伊藤公昭)

◆自分がここまで少林寺拳法を続けてこられたのは、道場の部員、子供たち、そして拳法を通じて知り合った、各製作所の仲間がいたからこそだと思います。今後も仲間とともに励ましあいながら、生涯現役で続けていき、部員を増やす活動を進めていきます。

(デンソー 別所福朗)

◆「少林寺拳法」というキーワード一つで、部署や会社を超えて、人と人がつながることができるのが実業団の魅力です。その良さを次世代につなごう！

(日本 IBM 副部長 藤井元晴)

◆全日本実業団少林寺拳法連盟 45 周年を御祝い申し上げます。今の日本は戦争前夜の状況に酷似しています。秘密保護法ばかり、集団的自衛権ばかり。今私たち一人ひとりが家庭内で話をする時期に来ています。本連盟を未来永劫継続していくためにも他人任せにはいけない現実があります。

(広島市役所 部長 土居哲郎)

◆先輩方が築きあげてきた実業団連盟がこれから先も発展していく為に、まずはデンソー少林寺拳法部の部員数を増やすべく活動を続けて行きたい。社会人になって休眠している拳士など経験者に続けられる環境があることを知ってもらうことに取組んで行きたい。部員数100人以上を目指したい！

(デンソー 梶川真秀)

◆45周年おめでとうございます。力強い結束の基、記念イベントの盛会と全実の更なる発展をご祈念申し上げます。

(元 東村山市役所支部 支部長 森本俊美 / 現 金剛禅総本山少林寺入間藤沢道院 道院長)



◆45周年を迎えられたのも諸先輩方、関係者の皆さん現役拳士の相互の協力があったのもであり50年60年と継続していくことが大事ですね。その為にも少林寺拳法の魅力（技法、教え、教育システム）を発信して単なる武道やスポーツでない心身一如、三徳を兼備した自己変革に努めたいとおもいます。

(デンソー 伊藤達也)

◆初めて参加したサンブラザ中野での30周年記念行事。もう15年も経つんですね。支部長を引き継いで2年近くになりますが、ますます全日本が身近になってきました。50歳を迎え身体的にはきつくなると思いますが、これからも支部や関西・全日本実業団連盟を盛り立てていければと思います。

(大阪市役所 部長 菱井隆之)

◆設立45周年おめでとうございます。45周年記念事業を一つのきっかけとして、拳士一人一人が積極的に連盟主催の行事に参加して「絆」を深めるとともに、拳士の輪を広げて実業団連盟の更なる発展に協力致しましょう。

(東大阪市役所 監督 深見邦夫)

◆全日本実業団連盟45周年おめでとうございます。少林寺拳法に出会って一年半です、子供達と一緒に始めました、この歳になっての出会いが新鮮でした。当たり前のことをする！してみようと思いました。この出会いに感謝し多くの人にも同じ体験をしてほしいと思います。

(デンソー 伊藤文子)

◆連盟設立45周年、心よりお喜び申し上げます。東海実業団連盟会長を拝命しております濱本でございます。社会人として活躍されている拳士各位には自己鍛錬を怠らず、身心を練磨し日本人として品格と誇りと自信を持って活躍されることを祈念いたします。“人、人、人すべては人の質にある”を心に。

(東海実業団連盟会長 東海理化 濱本忠直)

◆日頃は女子環境の中で思う存分少林寺拳法が出来る事に感謝しています。我がデンソー少林寺拳法部は最近親子入会が多く微笑ましい限りです。親子で共通の時間が持てるなんて最高ですよ！少林寺拳法をきっかけとして親子、夫婦、友達関係に良い影響をもたらすような仲間づくりをしていきたいと考えています。

(デンソー 内村麗子)



◆合掌 開祖が敗戦直後に帰国され、人づくりの道として少林寺拳法を創設された時代以上に、今こそ真の指導者が求められていると感じる。実業団支部としても、単に拳技に終始することなく、理想境建設に邁進したい。

結手

(大阪市役所 福田利明)

◆45周年おめでとうございます。支部道場に入門して以来35年、武専、本部講習などで多くの人達と出会えたことは私の財産と

なっています。これからも実業団支部の活動を通じて新たな出会いを楽しみにしています。

(東海理化 松尾伸一)

◆全日本実業団連盟45周年おめでとうございます。拳士の一人としてもっと多くの人に少林寺拳法を知ってほしい、始めてほしいと感じています。自分が少林寺拳法をやっていることを話すだけで聞いた人は何かしら興味を示してくれることが多いです。小さな事ですがこれを続けています。そして部員増加に貢献したいです。

(デンソー 梶花織)



◆入会し、早20年。少林寺拳法と出会い、自己確立、自他共楽の教えを学び、活かし、仕事でもプライベートでもうまく人と接することができます。私の夢は、小1の三男坊と親子演武に出場することです。結果がどうであれ、一緒に参加できることが親としての喜びであり励みにもなります。一緒にやれるようあの手この手を使って誘ってみます。

(東海理化 中西治彦)

◆少林寺拳法を始めて、いろんな方と出会ったこと、いろんなことを経験できたことが私にとっては、とても大事な宝物です。まだまだ修行が足りませんし、今現在、練習の場から離れておりますが、仕事や日々の生活の中で、少林寺拳法の教えを活かしていきたいです。

(日本IBM 荻野佳子)

◆毎回いつも楽しく練習させてもらっています、みんなと少林寺拳法をやれていることに日々感謝しています、これからもみんなと楽しく頑張っていきたいです。そして一人でも多くの人に少林寺拳法をやってもらえるように努力していきます。

(デンソー 服部峻典)

◆連盟とは設立当初から係わり、振り返れば45年間共に歩んできました。連盟を取巻く環境は厳しいところがありますが、連盟の結束力で問題の解決が図られることと思いますので、協力は惜しみません。個人的には体力が続く限り少林寺拳法を続けます。

(農林水産省 部長 武田隆夫)

◆少林寺拳法を通じて自分が身につけてきた事や素晴らしさを次の世代に伝えていきたいです。半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを胸に、人としての価値を高めていきたい。

(デンソー 畔柳洋一)

◆40周年はOB会員として迎えました。45周年はOB会員でもあり、現役の全日本実業団支部の拳士として迎えることができました。50周年は、実業団連盟の素晴らしい先輩・仲間と共に成長してもっとステップアップした自分で迎えたいと思います。ご指導ご鞭撻の程お願い致します。

(元 トッパンムーア支部 支部長 / 現 全日本実業団支部 森川一弘)

◆全日本実業団連盟45周年と同時に、我が東海理化支部も35周年を迎えました。ここ数年で、全日本実業団連盟、各地区実業団連盟支部との交流、親睦が深まり、益々楽しくなってきました。共に発展し、仕事に拳法に、人生を2倍楽しめる人材を増やしていきたいと思います。

(東海理化 部長 大塚昇)

◆池袋道院の前川先生のご指導のもとに少林寺拳法を始め、現在はソニー支部で外山部長にご指導をいただいています。ここ十年は年に数度しか道着を着る時間がありませんが、開祖が示した自他共楽の道を歩んでいきたいと思っています。

(SONY 根石英生)

◆今から、30年前、自衛隊美保基地支部からデンソー支部に転籍し、15周年全国実業団大会に参加しました。30周年大会では、息子と親子演武に出場し、良い思い出となっています。実業団の中で、自分が少林寺拳法を修行出来たことを、本当に有難く思い、感謝しています。

(デンソー 藤井英幸)

◆45周年おめでとうございます。2014年3月まで経済産業省支部に所属し、連盟理事会にも参加させていただいていたことが懐かしく思い出されます。また、微力ながら実行委員の末席に加えていただいた40周年から早5年も経つのだと時の流れの早さも感じております。これからも末広がりに発展して行くことを祈念致します。

(全日本実業団支部 金本誠夫)



◆全日本実業団連盟の45周年おめでとうございます。私は今年の四月から岩手県で単身赴任で働いています。18歳で始めた少林寺拳法を29年振りに再開して9年目。半ばは人の為、という気持ちで岩手に来ました。少林寺拳法を長く続ける為にも、実業団連盟は重要な位置付けにあると思います。これからも末長く継続出来ることを願います。

(日本 IBM 浅田治樹)

◆全日本実業団 45周年おめでとうございます。デンソー少林寺拳法部は、故進藤先生を初めとする部長・先人の監督達に継がれて、現在に至っています。この先何年・何十年も開祖の教えである「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」と素晴らしい技法を伝承出来ればと願っています。小生も、入門して 20 数年経ちますが、今後も日々精進して参りたいと思います。

(デンソー 大岩本三郎)

◆全日本実業団少林寺拳法連盟設立 45 周年おめでとうございます。私は 34 歳より少林寺拳法を始め、21 年目になります。初段の時に東京中野で全国大会に出場いたしました。とても懐かしく思います。その後は開催されていませんが、全国大会の再開があればもう一度出場したく存じます。体がついてこれたらの話ですが…。

(大阪市役所 山本正明)

◆全日本実業団少林寺拳法連盟設立 45 周年おめでとうございます。記念の大会に参加でき嬉しく思います。今後も少林寺拳法を楽しく続けて現役で 50 周年を迎えたいと思います。

(デンソー 後藤光義)



◆当支部も来年で 10 年目となります。部員数ですが、減ったり増えたりの繰り返しで現在、4 人で元気よく活動しています。部員を増やす努力は致しますが、私を含め部員全員が幸せになれるよう努力したいと思います！

(東京都交通局 部長 平井浩司)

◆ちょうど同じ年となります。30 周年の大会がつかないだのよう感じられ、時のたつのが早いなあと感じています。次の大会にも元気に参加できるように精進していきたいと思います。

(デンソー 井上徳幸)

◆45 周年おめでとうございます。普通寺自衛隊支部につきましては、今年発足する四国実業団連盟に加入する新しい部ですが、支部としては 43 年を迎える発足年代に近い支部です。この時期に実業団に加盟でき記念行事参加できるのも何かの縁を感じます。更なる発展に寄与できるように頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

(普通寺自衛隊 部長 浅山泰幸)

◆全日本実業団も45周年を迎えてさらなる飛躍に向けてみんなでつながり絆を大切に活動して行きたいですね！

(デンソー 瀬口佳樹)

◆World peace on earth by Shorinji kempo

(JR 四国 部長 大田康司)

◆45周年長か～、自分と同じ年齢だ。長生きして、100周年を目指すぞ～

(デンソー 平田智己)



◆40歳から少林寺拳法を始めました。実業団支部で仕事、家庭とのバランスをとりながら長く修行をしていきたいと思っています。人生、死ぬまで修行（酒行？）ですね。

(日本 IBM 戸倉敬央)

◆今後益々、少林寺拳法による「人づくり」が、重要な時代になるものと思っておりますが、奇しくも今年、四国実業団連盟が設立されました。今後は、四国実業団支部の方々と共に、四国における少林寺拳法の普及拡大のため、大塚今切少林寺拳法部が貢献出来るよう尽力する所存です。

(大塚今切 部長 大西関男)



◆自分をもっと強くなりたい、精神的に！

(デンソー 服部恵之)

◆少林寺拳法を始めて、4年が経ち、無事に初段を取得することができて誇りに思っています。高校の部活で3年間修業を積み、数々の大会に参加し、喜びも悔しさも味わってきました。まだまだ修行が足りないのです、これか先、沢山の課題を克服していけるように日々、修練していきたいです。

(デンソー 碓廉太郎)

◆合掌 「設立 45周年記念」おめでとうございます。私の趣味で各々の行事を8ミリフィルムで残していますが、収録した動作等が時代の動向を感じさせます。ブームに流されず継承される『技の術』や【正しい教えの活動】が行われているので、此からも発展する様に祈っています。結手。

(元 富士ゼロックス支部 支部長 鈴木文彦)



◆いつか親父(井上徳幸)に乱捕で勝つ!そのために、ぎりぎりまで頑張る力をつける。

(デンソー 井上凌)

◆全日本実業団少林寺拳法連盟設立 45周年

おめでとうございます。セガ少林寺拳法部は、昨年設立したばかりの部ですが、これからの全日本実業団連盟の発展に、少しでもお役に立てればと思っております。できることからではありますが、微力ながら頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(セガ 部長 大松完治)

◆45年。実業団連盟は、多くの先輩方や同志一人一人が、それぞれの人生の大切な一部分を持ち寄り紡いできたことによって成り立っている。一人一人から見ると「自他共楽」そのものだ。よし、もっともっと多くの人達と共楽しよう!その先に理想境が見えるはず。

(防衛省 部長 生形良隆)

◆私はまだ級拳士で未熟者ですが、更なる全日本実業団少林寺拳法の発展に貢献できるよう精進して参ります。

合掌

(トヨタ自動車 帯刀研次)

◆実業団45周年、おめでとうございます。自分の人生の基礎の中には、少林寺拳法の教えがたくさん詰まっています。この生き方は自分だけのものであり、この少林寺拳法の教えを大切に頑張っていきたいです。

(デンソー 藤井貴信)

◆少林寺拳法発祥の地である香川県に本店がある百十四銀行。現在部員数は少数だが、「人、人、人、すべては人の質にある」をキーワードに、少林寺拳法を学ぶ事によって、自分自身の質の向上と、お客さまに頼られる質のある行員（部員）を増やし少林寺拳法の和をひろげていきたいと思う。

（百十四銀行 副部長 牟禮浩）

◆45周年おめでとうございます。15年前の30周年記念大会では親子の部で藤井英幸・優作が出演し最優秀賞を頂きました。記念品としてディズニーランドのチケットをペアで頂き、家族4人で正月に行きましたが、とても寒かった事を覚えています。その息子達も今は社会人となり、子供の頃から少林寺拳法に携わったおかげで親父には逆らえません。

（デンソー 藤井千春）

◆今から15年前、私はデンソー少林寺拳法部の部員であり、東京で開催された全国実業団大会に団体演武の一員として参加したことがとても懐かしく思います。これからも全国の実業団の少林寺拳法部から、人としてあるべき姿を示すことができる人が一人でも多く育っていくことを願っております。

（デンソー / 現 金剛禅総本山少林寺ひだ菰原道院 道院長 老田尚）

◆実業団45周年 記念イベントおめでとうございます！私も、53才になり動かない躰に成りましたが日夜修行に励んでいます。仕事をする上で、少林寺拳法の教え / 技の動きがつい基準になり可笑しく成ります。ある意味、生き甲斐になっているのでしょう。世の中の矛盾に疑問を持ち、修行にちょっとした幸せを感じています。そんな風に思えるのは少林寺拳法に出会えたおかげです。

（デンソー 藤本真次）



◆45周年おめでとうございます！今後未来永劫に少林寺拳法が発展していくことを期待します。半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを!! 少林寺拳法は“人づくりの行”修行を通して、社会に役立つ人づくりを目指していきます。

（デンソー 竹内章二）

◆少林寺拳法に入門し早 39 年が経過し、何とか現役として頑張ってきたのは、これまで私と関わる多くの人達の影響が大きいと痛感しています。また少林寺拳法で学んでいることが仕事の中で活かされ、さらに人との繋がりに役立っていると感じます。今後も出来る限り現役にこだわり継続をしていきます。

(デンソー 福井民一)

◆全日本実業団連盟 45 周年 " 万歳 " 更なる飛躍に向けて取組みは何か！実業団内の支部数を増やすことも大切ですが部員の増加が急務と感じる、企業における少林寺拳法の活動を各種メディアを使って PR、そして認知度 UP を図り、隠れ少林寺拳士を発掘する。また親子入会を積極的に進め部員増加に邁進する。

(デンソー 内村輝彦)

◆全日本実業団連盟 45 周年を迎え、私が入会した時と現在を比較すると年少部の増加一般拳士の減少が感じられます。実業団である限りやはり一般拳士の増加は不可欠でありその為にも少林寺拳法の魅力を企業の内外に向け PR し部員の増加を目指していく。

(デンソー 東健次)

◆少林寺拳法に入門して 36 年、人としての生き方について色々ご指導頂き考えさせられ、会社生活でも活かすことができ、大変充実した人生を送る事が出来ました。今後も少林寺を通じて周りの人に影響を与えられるよう日々精進し、さらなる実業団の発展に貢献できるよう頑張っていきたいと考えています。

(デンソー 木島司)

◆少林寺拳法の教えを道場の中だけでなく日常生活においても実践していくことを目標としたい。また、その一環としてボランティア活動などに積極的に取り組むことで少林寺拳法についてより多くの方々に正しく理解し、興味を持ってもらえるよう努め拳士数の増加に貢献したいと思う。

(デンソー 大須賀礼美)



# 仲間といっしょに



SHORINJIKEMPO  
少林寺拳法



## 笑顔 づくり

## 元気 づくり



## 健康 づくり

# しませんか

一般社団法人 SHORINJI KEMPO UNITY



SHORINJIKEMPO  
少林寺拳法

# SHORINJI KEMPO UNITY は、 “人として力強く生きる力” を養う環境を支援します。

SHORINJI KEMPO UNITY は、「人づくりによる国づくり」と言う創始者・宗道臣の志を大切に、教えと技法、教育システムを守り、少林寺拳法の人づくり活動を支援しています。

UNITY 指定業者名	取り扱い商品	連絡先
株式会社オザキ	道衣、帯、法衣、メダル、盾など	0877-33-5555
株式会社前川商店	道衣、帯、法衣、メダル、盾など	0877-32-2438
香川記章有限会社	メダル、表彰盾など	0877-62-0657
株式会社大黒堂	各種タオル	0776-51-0390
西野金陵株式会社	日本酒、焼酎	087-835-4133
株式会社イサミ	スポーツ用品	0480-24-0712
株式会社ミズタニ	スポーツ用品	053-461-3568
富士スポーツ工業有限会社	柔法マット、ホテイロクター、防具など	0299-45-0208
株式会社石原石材	石置物等	0299-43-2150
株式会社O・P・S	審判員制服など	03-5476-6131
有限会社華や商事	各種記念品	0877-75-0098
都鶴酒造株式会社	日本酒、焼酎	074-601-5301
金剛商事	各種記念品	058-391-0195
シティライフ株式会社	メダル、表彰盾など	0436-21-9311
株式会社高松ホットスタンプ	看板など	087-891-1010
有限会社ニチエーシール	シールなど	086-425-0295
有限会社紀ノ国屋本店	お菓子、記念品	0877-75-2474
有限会社サエキ麺業	うどん、素麺	0879-62-6261
株式会社光洋商事	記念品、Tシャツ	042-742-6403
株式会社坂商	帽子各種、バックなど	03-3851-4854
エッチングアート工房一葉	ガラス、陶磁器加工	044-766-5212
有限会社西山印刷所	印刷物・名刺等	0877-33-0202
有限会社オフィス五円玉	表札・キーホルダー	048-837-1587
石丸製麺株式会社	半生讃岐うどん	087-879-6111
株式会社マ-ナルワールドジャパン	ヘッドカバーおよび拳サポーター	06-6446-6600
有限会社ザ型屋ドットコム	フィギュア全般	0276-46-3200
有限会社オグロススポーツ	審判用シューズ他	0250-43-0223
株式会社志満秀	えび煎餅各種	087-833-0025



「少林寺拳法」の名称は、法的に登録されており、無断で使用することはできません。部外者が、勝手に少林寺拳法を名のって活動を行ったり、SHORINJI KEMPO UNITY の許諾を得ず、「少林寺拳法 / SHORINJI KEMPO」や「シンボルマーク・ロゴ」を使用して記念品や物品を製作・販売することはできません。これらの行為を見かけましたら、必ず所属長へご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、少林寺拳法の所属長や UNITY 指定業者は SHORINJI KEMPO UNITY の許諾を受けた場合のみ、記念品や物品を製作することができます。



少林寺拳法グループ公式ウェブサイト

<http://www.shorinjikempo.or.jp>

# 祝 全日本実業団少林寺拳法連盟 設立45周年



東日本大震災復興支援  
ボランティア活動 2015

2015 東京都大会



2017年 少林寺拳法創始70周年  
東京進出60周年の節目を迎えます

## 東京都少林寺拳法連盟

<http://www.shorinjikempo-tokyo.com>

東京都少林寺拳法連盟

〒178-0062

東京都練馬区大泉町6-25-10

E-mail: [jimukyoku-tokyo@shorinjikempo-tokyo.com](mailto:jimukyoku-tokyo@shorinjikempo-tokyo.com)



# 祝

## 全日本実業団少林寺拳法連盟

### 設立45周年

今後ますますのご発展を祈念申し上げます



関東学生OB同友会 創立25周年記念祝賀会 (2014年6月29日・東京プリンスホテル)



関東学生OB会連合会 OB・OGミーティング (2014年5月4日・日本武道館)

少林寺拳法関東学生OB同友会  
少林寺拳法関東学生OB会連合会

# 祝

全日本実業団少林寺拳法連盟 設立45周年  
千葉県少林寺拳法連盟

<http://www.shorinjikempo-chiba.com/>

会 長	森 英介
副 会 長	本庄 竜介
理 事 長	渡来 士郎
副理事長	宮嶋 由雄
副理事長	志村 一男
同上・事務局長	井形 眞寿夫

# 祝

全日本実業団少林寺拳法連盟 設立45周年  
神奈川県少林寺拳法連盟

会 長	甘利 明
副会長	松田 良昭
顧 問	松沢 成文
顧 問	花上 喜代志
理 事 長	小川 肇
副理事長	小磯 信一
事務局長	三枝 勝巳

# 祝

## 全日本実業団少林寺拳法連盟 設立 45 周年 埼玉県少林寺拳法連盟

会 長 神山 佐市

副会長 宮崎栄治郎

名誉顧問 松永 光

顧 問 新藤 義孝

顧 問 豊田真由子

顧 問 上田 清司

顧 問 星野 光弘

顧 問 水村 篤弘

参 与 倉田 健治

参 与 林 昌幸

参 与 倉田 幸明

理事長 大野木憲三

副理事長 小宮山宜(兼事務局長)

副理事長 関根 敏夫

副理事長 木内 常之

### 編集後記

40周年に続き、45周年記念誌の製作も担当させていただいた。大変光栄なことである。だが同時に難しさも感じた。飽きずに読んでもらえる内容にするのは当然だが、前回と同じ文章や同じフォーマットでは面白みがない。効率性を重視しながらも、すべてをゼロ・ベースで構築しようと思った。45周年記念誌を編纂する過程で、図らずもその間の世相を何度も俯瞰することとなった。変化のスピードは年々加速している。きっとこれから私たちは新たな激動の時代に突入することになるだろう。「己こそ己の寄るべ」「すべては人の質にある」、開祖の言葉があらためて心にしみた。私の好きな開祖語録に次のようなものがある。「いつか誰かがやってくれるだろうではなく、自分がやろうと思うてみんか。どうだい、自分が歴史を変えてみんか」次の50周年を笑顔で迎えられるよう、未来を見据え、ぶれずに歩いていきたい。

関東実業団少林寺拳法連盟 理事  
山下 明人 (日本IBM)

少林寺拳法を開創された開祖と  
その思いを受け継ぎ伝えてくれた諸先輩  
少林寺拳法を愛する人  
応援して下さったすべての人々に

感謝いたします



SHORINJIKEMPO  
少林寺拳法

2015年10月17日

発行：全日本実業団少林寺拳法連盟

発行責任者：根本武美

編集人：山下明人

制作：(株)英潮社

(有)メディアログ/三橋デザイン事務所